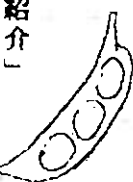


ひろば大代

NO.212

大代公民館



「ミニ福祉敬老会の紹介」

婦人会福祉部 後藤マサエ

地域福祉推進の一役を担い高齢者に給食サービスを始め五十年になります。各支部の皆様は限られた予算で一日の食品摂取三十品目を理想として、献立には特に知恵を出し合って下さいます。おいしい料理、体にやさしい料理バランスのとれた料理をと努力されています。現在の給食希望者は毎月五十名位です。

大代の高齢化は四三%、男三六%、女四九%、大田市二五%、島根県二%ととにかく大田市一番の大代です。

このように高齢化する大代婦人会では福祉部を設置し、各地域ごとに高齢者宅を訪問し交流をはかっています。又それぞれの集会所へ七十五才以上の方をお招きして会食を共にするミニ

敬老会を開催し、楽しいひとときを過ごしていただいています。百十七名の方が参加して下さいました。どなたも大変喜んで下さってお世話しました私達も嬉しゅうございます。

婦人会の平均年齢も六十三才の老年前期です。けれどこれからは元気な高齢者が弱い方を助けるといふ相互支援の形態をとっていかなくてはならないと考えます。

その為にはお互いに尊重しあって各団体と協力し合い、明るい高山の里づくりに参加しなければと思うのです。

「ミニ敬老会」を開催して

八反田婦人会 竹間勝栄

七月七日にミニ敬老会をしました。四名の方をお招きしたのですが、一名都合が悪く出席されず残念でしたが、後でお膳を持って行きました。

会は十名の会員で手づくりの花束を添えて昼食と一緒に食べました。昔話に花が咲いて、歌も出たり、七夕に因んでそれぞれの思いをこめて飾りつけました。出席された方には、とても楽

しい一日だったと喜んでもらいました。この様な会は大変良い事だと思いません。手伝って下さった会員の方には大変だったと思いますが、一生懸命に手伝って下さり感謝しております。

「ミニ敬老会に招かれて」

下谷 尾崎三枝子

下市・下谷の婦人会の皆様、心暖まる御馳走を有難うございました。

戦後五十年がたつて色々な点で変わりましたが、年寄りの多い社会になった事が特に変わったと思います。

年を取ると見る事、聴く事、する事すべての情報がせばまって社会から後退して参ります。しかし大代町は私の心に焼きついた故郷で、いつも見慣れた景色・家々そして出会う人は皆なつかしい人ばかりです。私にとりまして皆様方の温かなやさしいお心にふれる事が、どんなになくさみになるか分かりません。

彩り豊かなお心のこもったお食事をいただいで、心がわくわく致しました。

そしてお一人お一人のお顔が浮かんで参りました。これを糧に元気に日暮らしをしたいと思えます。

ありがとうございます。

「福祉弁当雑感」

椿 高崎 章

二月十六日、日曜日、福祉弁当と共に三中の生徒さんの慰問文が届けられた。老人に対する温かい気持ちの現れであることは理解できるが、若いゆく自分を鏡に写したような一抹の淋しさも感じさせられる。

まだまだ現役として働いておいでになる先輩達を見ると、私共が年寄り風を吹かさないうで大いに余生を大切に生きぬかなければと、から元氣を出している今日である。

大代町の老人比率は四三%を越した様に聞く。そうした中で平成四年以来毎月の福祉弁当のお世話をして下さる婦人会の方々、又その他の方々のご苦勞が心をうつ。

とかく物に恵まれると我儘になり不足もでるもの。福祉弁当は味で競うも

のではなく、心の糧として有り難く頂戴するものと思う昨今である。

「三中地域交流クラブの紹介」

昨年からは三中の地域交流クラブのボランティア活動として、大代の福祉弁当を一部の地域に配布して交流を深めてきました。今年度は行事の都合でそれが出来なかつたので、福祉弁当に手紙を添えて配りました。その一部を紹介致します。

大田三中三年 益田理恵子

初めまして。私は大田三中の益田といひます。今私は学校のクラブ活動で「地域交流クラブ」というクラブに入っています。このクラブはお年寄りの方と交流をより深めようというクラブです。

今まで、年賀状やお手紙などお年寄りの方とたくさん交流してきました。昨年の十一月の始め頃、グラウンドゴルフをしました。ここでもたくさんの方と交流ができて、お年寄りの方にも楽しそうに、私達も楽しく過ごせた

と思えます。今回のお手紙は、ただお弁当を食べていただくだけでなく、少しでも楽しく食べてもらえたら...と思ひ書いています。今、三年生は受験勉強で、大変です。みんなが行きたい高校へ行ければ良いと思っています。

さてだんだん春に近づきつつあります。かぜに氣をつけて、暖かい春をむかえましょう。それではお元氣で...

大田三中一年 鬼村伸也

こんにちは。この寒い季節どうお過ごしでしょうか。ぼくは寒くてもがんばって元氣に一日一日を過ごしています。

今地域交流クラブで弁当配りの弁当の中に手紙を入れようということ、この手紙を書くことになりました。他にもぼくらは、グラウンドゴルフを地域の人とやりたりしています。

あとぼくは卓球部に入っています。二月の十一日に大田市卓球大会という大会があって、ぼくはおしくも負けてしまつてとても残念でした。でもくじけずがんばりたいです。

ぼくはまだ中学一年生なので中学生活を後二年間、いろいろなことにチャレンジしたいです。

お体に気をつけこれからもがんばって暮らして下さい。

「大代のよいところ」

下市 森 守

先日、三重県松阪の方から鳥羽へと旅行する機会を得ました。

どこの地でも家族で楽しんで遊ぶ所が少ない事に気づきました。団地では小さな公園があるだけで、子供達もあまり外で遊んでいる姿が見えません。どうした事なのでしょう。

今の子供達は都会の子も田舎の子も家の中でテレビゲーム等をして過ごして、外では遊ばなくなったのだらうか。小さな公園では遊びも限られるし、やはり野山を走り回ったり、のびのび遊んでほしいと思います。

大阪は淀川河川敷があるので、それぞれ家族で運動をしたり、お弁当を食べたり楽しんでる姿が見られ、嬉しく思いました。

ここ大代にはミニゴルフ場もあるし川も自然のまま、高山もあるし、学校の校庭もあるのですごく環境はいいと思います。もっと町民のみんなが活用してほしいと思います。

そして野山をゆっくり散歩出来る公園造りをしたらどうでしょうか。



「猿の訪問」

柿田 横手和男

一月十七日午後四時頃、納屋で仕事をしていたら、「大根どうしたの？」と妻の大声に、外に出て見た。

三畝の大根が見当たらず、小さいのがあちこちに散らばっていた。今年は少しは良く出来たと思っていた人参が一本残らず抜き取られ、葉っぱだけ残っていた。隣の畝の津田かぶは全然かまっていない。猿の仕業と分かる。

離れた所の人参もやられ、食い残しの人参を未練たらしく拾って来た。ねぎも白根を全部かじっていた。

こんなに近くの畑で悪さをしていた

のに全然気付かなかった。少し前変わった声がしていたが、この寒さにカラスが風邪を引いたのかなと思っていたが、実は猿の声だったのだ。

それにしても悔しい。隣の家に電話

したら、やっぱり人参をやられていた。翌日は霜の降りた良く晴れた寒日和

早朝より竹藪で多数の猿の声。その内ポンプ倉庫の辺りに出ているとの事。

婦人連中四、五人が見に行く。帰って来た人達は子猿が七匹、いで溝の所で日向ぼっこ、親猿が畑で四、五匹いて

自然にいるのを初めて見たと、好奇心いっぱい猿に負けずに騒いでいる。

午後、猿は四日市へ移動、隣の渡辺さんは爆竹を鳴らして追い払われた。

その後、今の所猿は姿を現さない。

猿さん曰く、「この度は四日市と椿を訪問したつもり、途中に一戸柿田があつたのか？その内柿田へは改めて又

来ます。乞うご期待、御注意あれ」と。

猿の被害は初めてなので、呑気な事を言っているが、これが秋の収穫の稲

の場合、どうなる事かと頭の痛い事です。

「ご卒業おめでとう！」

今年も卒業シーズンを迎えました。

今年の第三中学校の卒業生は三十二名

その内大代の卒業生は九名です。巣立

つ皆さんは次の方々です。(敬称略)

中学校卒業おめでとうございます。

柿田 岡田 一 川上 田中 健

四日市 谷口政行 四日市 西本 剛

山田 畑 奨 上市 後藤貴子

下飯谷 高村留美 川上 鈿 美由紀

下市 永井絵里

それぞれの高校で頑張ってください。

「旬を求めて」

関西高山会会長 田辺正義

料理研究家

その五「タケノコ」



「パンブー」竹」を食べるといふこ

とは、西洋人にとってさぞかし仰天も

のだったでしょう。竹は南仏のプロバ

ンスあたりで細々と自生しているくら

いで、竹そのものに馴染みがなく、ま

してやそれを食べるとなると想像を絶

するものがあるに違いありません。し

かし日本人にとってタケノコはおいし

い食材のひとつというだけでなく、春の到来を告げる嬉しい旬の料理でもあるのです。

日本の食用タケノコのビック3は真竹、淡竹、孟宗竹です。収穫時期は真竹が六月、淡竹が五月、孟宗竹が四月で、はしりに登場するのが孟宗竹といふことになります。

いずれも中国からの舶来もので、真竹、淡竹の記述は「古今和歌集」にすでに登場する古い歴史をもつのに比べ

孟宗竹は新参者で、といっても一七六三年、鹿児島に上陸した江南竹がその

元祖といわれます。鹿児島を拠点とし

全国に広がり、京都の長岡京付近の粘土質の土壌がタケノコに良く合い、質

的に日本で最高の産地となっています。

長岡京にある、タケノコ料理一筋百年という料亭「錦水亭」には、竹藪といふよりタケノコ畑といった感の、広大な敷地があります。藁と土が十七層にも重なり、手入れもなかなか大変ですが、竹の成育の早さには目を見張るものがあります。

「タケノコの刺身は最高」などといいますが、実際にはとても食べられた

ものではありません。確かに生の栗のような味はするのですが、アクが強く食べた途端、口の中、喉とまるでトゲの爆弾が破裂したようです。ただ「錦水亭」では通常のようにゆでる時に糠やたかの爪、米のとき汁などはいっさい入れず、土地のわき水でゆでます。これは産地ならはのことと、じかにゆでるといふことから「じきたけ」といふ登録商標の名がついた料理があるほどです。

タケノコは「筍」あるいは「筍」と書きます。必ず「旬」という漢字が入り、季節感を運ぶタケノコの本質をよく表しています。そんな旬のタケノコの味は、我々日本人にだけ許された美味、幸せといつてもよいでしょう。

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

*** **

三月の行事予定

◆3日(日) 婦人会総会

◆9日(日) 福祉弁当

◆15日(土) 第三中学校卒業式

◆19日(水) 大代幼稚園卒園式

大代小学校卒業式

◆22日(土) 連合自治会

◆30日(日) 大田市長選挙